

生前の功績が称えられる

●故金田隆雄氏叙勲伝達式



▲長谷部勝・北秋田地域振興局長から叙勲の伝達を受ける長男の金田正明さん

元合川町議会議長で、今年8月に逝去された金田隆雄氏（享年85歳・西根田）がこのほど旭日単光章を受章し、11月26日、市役所で叙勲伝達式が行われました。金田氏は、昭和55年から平成8年まで4期16年にわたって合川町議会議員を務められ、地方自治の発展に尽力されました。特に総務財政常任委員長として、議会の円滑な運営に尽力する等、産業振興住民福祉の向上、健全財政の維持に多大な貢献をされました。

伝達式には長男の正明さん（54歳）が出席。正明さんは、「地域の皆様や支持してくれた皆様に感謝申し上げます。皆様のおかげでこのような章をいただけると思っております。本当にありがとうございました」と話していました。

活かそう！郷土の味力

●「ふるさとの未来・再考」フォーラム



▲バター餅の研究成果を発表する秋田北鷹高校家庭クラブの皆さん

「ふるさとの未来・再考！」フォーラムが12月1日、市交流センターで開かれ、市民ら150人が参加し、「活かそう！郷土の味力」をテーマに内陸線や地域課題解決への新たな可能性を探りました。シンポジウムで、くまのたいら企画の大穂耕一郎代表は「天然あゆ」や「ぶなかのか」など、地元の食材100%にこだわった駅弁販売の取り組み等を紹介。秋田北鷹高校と大館高校の両家庭クラブが、バター餅や米の粉で作る巻物「かまぶく」など、地域貢献に取り組んだ実践研究を発表しました。

このあと、両校クラブの「しょうゆバター餅」、「かまぶく」、秋田内陸線が開発した「馬肉シチュー」の試食会も開かれ好評を博しました。

多くの利用客で賑わうように

●森吉山阿仁スキー場安全祈願祭



▲ゴンドラ駅舎で、今シーズンの安全運行と利用客の増加を祈願

森吉山阿仁スキー場の安全祈願祭が12月6日、同スキー場で行われ、シーズン中の無事故と利用客増加を祈願しました。同スキー場は、平成23年4月から市営スキー場としてスタートし、特定非営利活動法人森吉山（片岡信幸理事長）が指定管理者として運営しています。

安全祈願祭には、スキー関係者を始め、森林管理署や県、市、観光協会、商工会、消防、警察などから約30人が出席しました。また、ゴンドラが故障で停止し、利用客が閉じ込められたという想定での救助訓練も行われ、従業員が手順を一つ一つ確かめながら救助にあたっていました。

今シーズンの冬季営業は3月24日まで。昨年好評となったゴールデンウィークの春スキー営業は、今年も開催予定です。

息を合わせて軽快なバチさばき

●第22回北秋田鷹巣祇園太鼓審査会



▲個人の部で日頃の練習の成果を披露する子どもたち

北秋田鷹巣祇園太鼓振興会（今立明代表）による「第22回北秋田鷹巣祇園太鼓審査会」が11月23日、文化会館で開かれ、会員らが日頃鍛えた演奏技術を競い合いました。

審査会では、ばちさばき、力強さ、リズム感、チームワークなどを審査。模範演技の後、個人の部に15組、団体の部には7団体が参加し、この日に合わせて練習を重ねた成果を発表しました。

また、阿仁公民館移動奨励室チーム、合川新生園の「祇園太鼓クラブ」、ALITチームがゲストとして出演したほか、保護者や中学生による演奏も披露され会場を盛り上げました。

審査会の締めくくりとして1000人打ちの合同演奏でフィナーレを飾りました。

女性の元気が地域の元気

●男女共同参画社会づくりフォーラム



▲テーブル毎に分かれ、積極的に意見を述べ合ったグループ討議

北秋田市男女共同参画社会づくりフォーラムが11月28日、市交流センターで開催され、市民ら約100人が参加しました。

フォーラムは、楽しみながら男女共同参画社会づくりについて理解を深めてもらおうと市が主催したもので、テーマは『ともに築こう北秋田市の未来・女性の元気が地域の元気』。

はじめに、能代市上町自治会の能登祐子会長が「勇気と実践から生まれるもの」と題して講演。続いて、生活課職員による朗読劇が披露されました。また、「地域活動への女性の参加と参画について」と題したグループ討議やパネルディスカッションが行われ、参加者が積極的に意見を交わしながら理解を深めました。

ふるさと談義で盛会に

●第26回東京ふるさと森吉会



▲懐かしいふるさとの話題で盛り上がった交流会

第26回東京ふるさと森吉会の総会（奥田庄一郎会長）が11月25日、アルカディア市ヶ谷（東京都千代田区）で開催され、会員ら約130人が参加し旧交を温めました。

交流会は、参加者が各テーブルを回り、旧友や知人との懐かしい思い出話やふるさと談義に花を咲かせ、ゲームや歌などのアトラクションで大いに盛り上がりました。

会場では、バター餅やあゆの塩焼き、きりたんぼなど北秋田市の特産品が販売され、多くの参加者がふるさとの味を買い求めていました。

最後は全員で「ふるさと」を大合唱し、生まれ育った地に思いを馳せるとともに来年の再会を誓っていました。